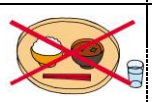
広汎性子宮摘出術を受けられる患者さまへ

患者さま用

患者氏名:　　様　　受持医:　　受持看護師署名:

月 日(日 時)	／	／		／	／	／	／	／ ～ ／	/
経 過(病日等)	入院日(手術前日)	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術3～4日目	手術5日目	手術6～19日目	手術20日目
達成目標	◆手術の準備が整っている ◆手術の必要性を患者・家族が理解し同意する ◆退院基準を理解し同意する ◆手術前の検査が終了している ◆検査結果で貧血がない	◆浣腸後十分な排便がある ◆不安なく手術が受け入れられる	◆下肢の循環障害、皮膚のトラブルがない(痛み・痺れ・発赤・水疱) ◆循環動態が安定している ◆疼痛がコントロールできる	◆疼痛コントロールができる ◆下肢の循環障害、皮膚のトラブルがない(痛み・痺れ・発赤・水疱) ◆腸の動きが良好で、排ガスを認める ◆ベッドサイドに立位ができる		◆排ガス・排便が良好で腹満感がない ◆トイレ・洗面所まで歩行できる	◆術後感染がない ◆排尿機能が回復し残尿が減少する ◆残尿100ml以下を連続2回確認できる		【退院基準】手術後の合併症が無く日常生活に支障がない ◆退院後の生活が理解できる ◆尿路感染を起こさない ◆排尿機能が回復し残尿が減少する。
治療・薬剤(点滴・内服)	眠れない場合は 睡眠薬を服用できます	手術が午後の場合点滴 (500ml)を行います (　　)時頃から手術の準備をします	点滴をします 			排便がなければ下剤の内服または座薬・浣腸をします	5日目以降は内服薬を使用して排便コントロールをしていきます	7日目診察があります 	
処　置	除毛と臍処置をします 夕食後19時頃浣腸をします	朝(6時頃)　浣腸 手術の開始時間	尿の管が入ります 左右のおなかから管が1本ずつ入ります 腰から麻酔のチューブが入ります			抜去します 抜去します	5日目に抜去します 残尿測定開始します		
検　査				採血(朝)します				採血(7日目)します	
活動・安静度	制限はありません		体の向きを変えます足を動かせます			病棟内歩行できます	制限はありません 頑張って歩きましょう		
食　事	夕食後(　)時より絶食です 水分は(　)時まで飲めます			2日目昼食より食事開始となります(排ガス後) 流動食から3分粥・5分粥・全粥・米飯となります					
清　潔	除毛後に入浴をします マニキュアはとりましょう			体を拭きます 	洗髮ができます、麻酔のチューブを抜去できたらシャワー浴できます				
排　泄					介助でトイレまで歩きましょう				
患者様及びご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	受持医より入院治療計画・手術の説明をします 看護師により入院時の説明・看護計画の説明をします 必要時栄養士から栄養指導があります 前日麻酔科医師の診察と手術室看護師の訪問があります 薬剤師が訪問します 物品婦人科Aセット (腹帯2枚・T字帯2枚・大パット2枚・中パット10枚)を購入についてご案内します		手術の結果を説明します		必要		看護師より残尿測定・排尿訓練について説明があります	受持医から組織検査の結果と治療方針の説明があります 受け持ち看護師から退院後の生活指導があります	

注1　入院期間については現時点で予想される期間です。

国立病院機構熊本医療センター　産婦人科　2021年10月